

分析ガイドラインの改定に向けた費用対効果評価における方法論
およびツール等の開発に関する研究
分担研究報告書

介護者への波及効果を費用対効果評価に含める際の課題とその解決方法に関する研究

研究分担者 能登 真一¹⁾, 岩本 哲哉²⁾

¹⁾ 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部
医療経済・QOL 研究センター

²⁾ 国立保健医療科学院 保健医療経済評価センター

費用対効果評価に介護者の QOL 値への影響を加味しようとする際、Carer QALY Trap の発生という課題とそれを解消するためのモデル化の課題が指摘されている。本研究では、それらの課題を整理したうえで、Carer QALY Trap を解消するための現実的な手法を検討した。介護者の QOL を費用対効果評価に含める手法には、Utility approach, Disutility approach, Increments approach, Multiplier approach などが提案されている。しかしながら、いずれも利点や欠点があり、Carer QALY Trap を根本的に解消するものになっていない。最近になって、Carer の QOL を family effect と caregiving effect に分けて算出しようとする手法も提案されたが、これも Multiplier approach と同様に、任意の multiplier を定める必要があるため、不確実性が高い。これらに対して、Delayed deterioration approach という、本来患者が重症化していたら失われていたはずの QOL を実際には軽症のまま維持できた QOL の差として数える新たなアプローチ方法を提案した。

また、QOL データベースには、2025 年に新たに公表された 99 本論文を追加した。

I. 介護者への波及効果を費用対効果評価に含める際の課題とモデル化

1) 背景

近年、小児の難病や認知症など家族などインフォーマル・ケアラーの介護負担を考慮すべき疾患に対する治療薬が登場し、その経済評価において介護者への波及効果 (spillover effects) をモデル化する際の課題や手法についての研究が盛んになってきている。

日本の費用対効果評価において先に実施されたレカネマブ (レケンビ点滴静注) の分析の

際にも、介護者の QOL をどのようにモデルに反映させるかという点が議論になった。

海外の HTA 機関や学会などにおいても、この介護者への波及効果をどのようにモデルに反映させるかという点については、未だ共通の答えが見つけられておらず、対応も国によって分かれている現状がある。今後、国内でも介護者に影響を与える新薬が承認される可能性も高く、現時点の内外の状況を整理しておく必要がある。

2) 目的

介護者への波及効果を費用対効果評価に含める際の課題を明らかにし、モデル化する際の手法を整理すること。

3) 方法

発表されている論文や各国 HTA 機関が公表しているアブレーザルなどをレビューし、考察を加える。

4) 結果

介護者への波及効果を費用対効果評価に含める際の課題については、Carer QALY Trap の発生とその分析モデルへの反映方法の 2 点に集約される。

(1) Carer QALY Trap の発生

新たな医療技術によって、患者の QOL の向上や余命の延長が期待されるが、患者の QOL の向上分 (utility gain) よりも介護者の介護負担 (disutility) が大きい場合、獲得 QALY は減少し、ICER が悪くなる。つまり、新薬等の登場によって、患者の健康状態が改善したり寿命が延びたりするものの、費用対効果評価に優れないということになってしまう。このような現象は Carer QALY Trap と呼ばれ、様々な議論を巻き起こしている^{1,2)}。

この Carer QALY Trap の発生は費用対効果評価の手法的には間違っていないものの、一般的には受け入れがたいと認識される。つまり、新薬の登場は患者や家族にとって好ましいはずが、介護が必要な疾患においては費用対効果評価が悪くなるという矛盾を生じるためである。家族を介護することはネガティブな面がある一方で、利他的に関わるというポジティブな面もあるため、課題の解決を困難にしている。

(2) 介護者への波及効果をモデル化する際の手法

上記のような課題を解決するために、介護者への波及効果を費用対効果評価でのモデル化する手法がさまざま提案されている。それらを表 1 に整理する。

表 1. 介護者への波及効果を費用対効果評価に含める手法

①	Utility approach	患者の健康状態ごとに介護者の「効用値の絶対値」を割り当てて、患者 QALY とは別に介護者 QALY を積み上げる方法
②	Disutility approach	介護者の損失 (disutility) に注目して、介護者 QALY を積み上げる方法
③	Increments approach	ある基準状態から見た介護者効用の差分だけを扱う方法
④	Multiplier approach	患者 QALY 増分に一定比率を掛けて介護者 QALY 増分を求める方法
⑤	Family effect + caregiving effect approach	介護者の効用を情緒的プラスと介護負担のマイナスを分けて求める方法

Utility approach は、患者の健康状態ごとに介護者の「効用値の絶対値」を割り当てて、患者 QALY とは別に介護者 QALY を積み上げる方法で、患者の状態がよくなるほど、対応する介護者効用も高くなるので、通常は介護者にも大きな便益が出る。この方法の長所は計算が分かりやすく、患者の状態ごとの介護者の QOL をそのまま使えることである。しかし短所は、患者の生存延長があると、その期間ずっと介護者にもプラスの QALY が加算されやすくなる点である。

Disutility approach は、介護者の損失 (disutility) に注目して、介護者分の QALY を積み上げる方法であり、完全に健康な状態あるいは年齢調整した一般人口の効用値との差を、患者の状態ごとの介護者負担として置く。つまり、介護によってどれだけ介護者が削られているかをモデル化する手法である。介護負担をより直接に表せる半面、介護の影響を基本的にネガティブなものとして扱いやすくなるのが弱点となる。患者の生存が延びると、負の介護影響が長く続くので、介入が患者には有益でも介護者には不利益という結果になりやすい。これは前述の Carer QALY Trap をもたらす。

Increments approach は、ある基準状態から見た介護者の効用の差分だけを扱う方法で、基準とする健康状態と比較した状態において介護者効用がどれだけ下がるか／上がるかという点に着目する。結果の向きが基準状態の取り方に左右されるため、場合によってはプラスにもマイナスにも作用する。

Multiplier approach は、患者の QALY 増分に一定比率を掛けて介護者の QALY 増分を求める方法である。例えば、患者の便益が 10 増えたら、その何割かを家族・介護者便益として加えるもので、その乗数の推定には例えば、医療支出を別の介入に回した際にどれだけの患者と介護者の健康が失われるかという比率から求められるという報告がある³⁾。

Family effect + caregiving effect approach は、介護が必要な疾患とその治療に対して、family effect と caregiving effect に分けて、その影響を求めようとする手法である。それ

それぞれの計算方法について、前者の family effect は、患者の効用または患者の不効用に family effect multiplier を掛けて求め、後者の caregiving effect は、観測された介護者 disutility から、family effect で説明できる部分を差し引いた残りとして求める方法である⁴⁾。

上記の 5 つのアプローチについて、具体的な数値を当てはめた上で、それぞれの特徴と効果を示してみたい。前提として、患者の health state を軽度と重度の 2 つだけにして検討する。

表 2. 前提とする各 health state における滞在時間と utility

群	標準値	軽度	重度	合計
比較群		2 年	3 年	5 年
介入群		4 年	2 年	6 年
患者の utility		0.70	0.40	
介護者の utility	0.95	0.82	0.70	
介護者の disutility		-0.13	-0.25	
介護者の utility の差分		-0.13	-0.12	

表 3. 各 health state における utility と介護者の QALY gain

アプローチ方法	state ごとの utility	比較群	介入群	QALY gain
患者分	軽症 0.70, 重症 0.40	2.60	3.60	+1.00
Utility	軽症 0.82, 重症 0.70	3.74	4.68	+0.94
Disutility	軽症 -0.13, 重症 -0.25	-0.76	-1.27	-0.51
Increments	軽症 -0.13, 重症 -0.12	-0.62	-0.66	-0.04
Multiplier	multiplier = 0.20		0.20	+0.20
Family + caregiving	family effect =0.06 caregiving effect =-0.12	-0.08	0	+0.08

Utility approach は、介護者の utility の絶対値を用いるため、QALY gain はすべてのアプローチ方法の中でもっともプラス方向にはたらく。しかしながら、それを介入の効果として費用対効果評価に用いると過大評価になってしまう。

Disutility approach は、逆にもっとも大きなマイナスの QALY gain となってしまうため、Carer QALY Trap を生じる。

Increments approach は、介護者の utility の差分を用いるため、患者の軽度の期間を延長できれば QALY gain となるはずであるが、患者の生存年自体が延長されると、表 3 のように結果的にはマイナスになってしまう。

Multiplier approach は、その multiplier にどのような数値を当てはめるかによって結果は異なるが、患者分の QALY gain にプラスの乗数を掛ける以上は、介護者の QALY gain もプラスとなる。ただ、multiplier の設定根拠明確になっていない。

Family effect + caregiving effect approach は、family effect はプラス、caregiving effect はマイナスにはたらくため、軽度の期間が延長されれば、QALY gain もプラスの方向に向きやすくなる。ただ、このアプローチ方法に関しても、multiplier にどのような値を適用するかによって結果は大きく変わる可能性が否定できない。

(3) Delayed deterioration approach の提案

以上の 5 つのアプローチ方法の利点や欠点を踏まえ、carer QALY trap を避けるための新たなアプローチ方法を提案したい。

それは、介護者 QALY を、各状態の絶対値そのものではなく、重症化していたら失われていたはずの QOL を実際には軽症のまま維持できた QOL の差として数える方法である。例えば、軽度の時の介護者 QOL = 0.82、重度の時の介護者 QOL = 0.70、治療によって重度化を 2 年遅らせることができるとしたら、介護者の便益は、

$(0.82 - 0.70) \times 2 = 0.24$ QALY となる。これはまさに、「重症状態への移行を遅らせたことによる差分」を積む方法である。

理論的には、Increments approach に近いが、Increments approach がある基準となる健康状態に対する介護者の効用の差を求めるのに対して、Delayed deterioration approach では、その baseline を死亡後や介護不要状態に置くのではなく、あくまで「介入がなければ重度であったが、介入により軽度でいられた期間」として定める。数式としては、以下のよう表すことができる。

$$\Delta QALY_{DDA}^{carer} = (U_{mild,t}^{carer} - U_{severe,t}^{carer}) \times T_{delay}$$

このアプローチ方法によれば、評価対象を「生存期間全体」ではなく「重症化を遅らせた区間」に絞るため、軽症のまま 2 年長くいられた場合や、本来の重度の QOL に落ちずに維持できたという改善差分だけを積むことになり、結果的に carer QALY trap を避けることができる。実際の介護現場や家族間の関係性を考慮した場合に、直感的に理解されやすいと考えられる。

一方で、延命に伴う追加介護負担が本当に存在する場合、それを意図的に切り落とすことにもなりかねず、単に、延命だけを効果とした新薬の評価には適用しづらい可能性がある。

(4) NICE における介護者の QOL をモデルに適用する現状

Ahmadu らが調べた英国 NICE における介護者の QOL の反映状況については、介護者の QOL データ（観察研究、調査、事例研究、臨床試験から得られたもの）を、当該データ

を提出した評価の 90% (44/49 件) において意思決定に考慮していた。そのうち、82%は定量的に考慮していたという結果であった (図 1) ⁵⁾。

また、近年は明らかにその件数が増加しており、介護者の QOL を費用対効果評価に含もうとする傾向が顕著となっている。

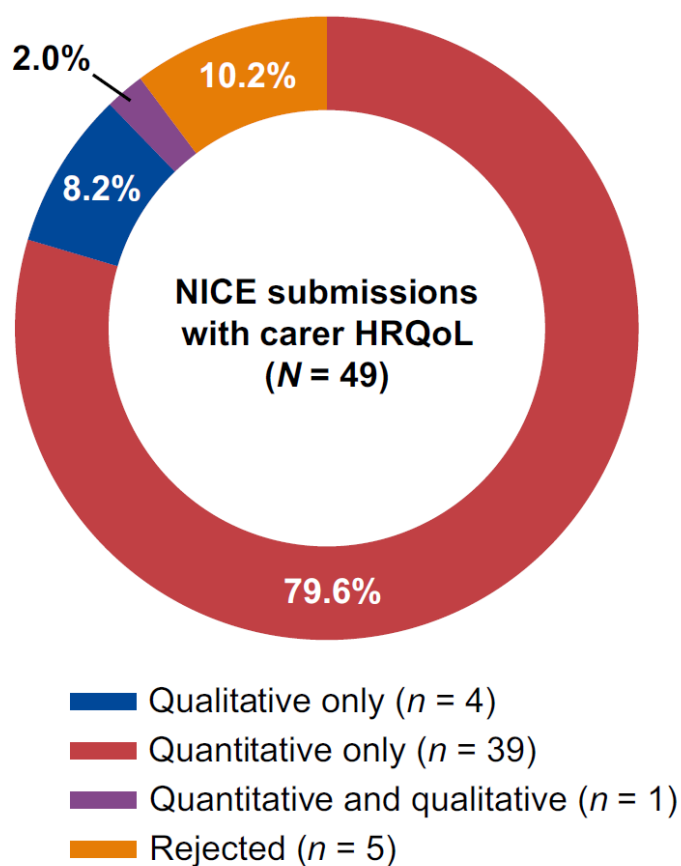


図 1. HTA 申請における介護者の HRQoL に関する委員会の決定

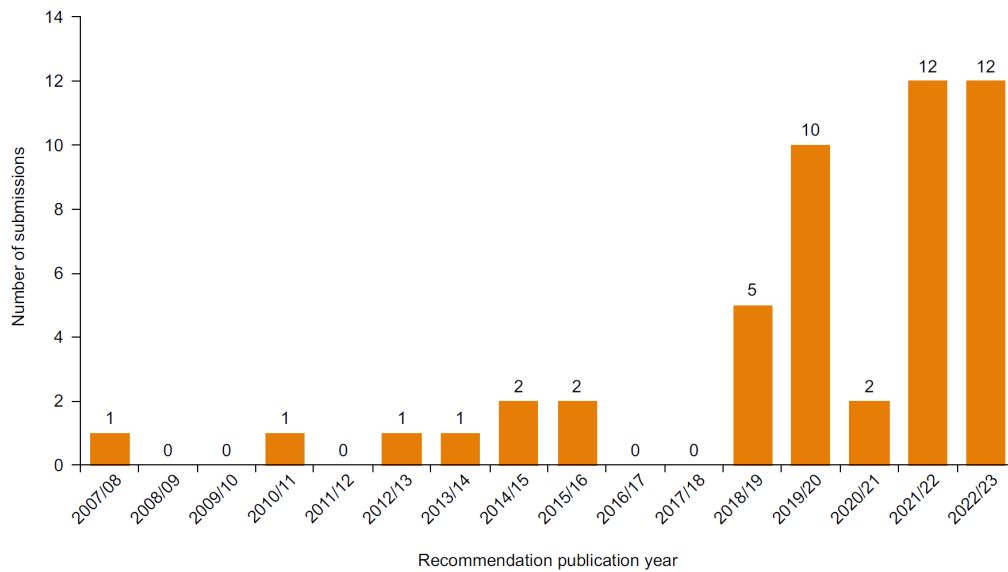


図 2. NICE の HTA 申請における介護者の HRQoL の増加

(5) 参考文献

- 1) Mott DJ, Schirrmacher H, Al-Janabi H, Guest S, Pennington B, Scheuer N, Shah KK, Skedgel C. Modelling Spillover Effects on Informal Carers: The Carer QALY Trap. *Pharmacoeconomics*. 2023 Dec;41(12):1557-1561.
- 2) Tilford JM, Tarlan A. The carer QALY trap and altruism in economic evaluations. *Pharmacoeconomics*. 2023;41(12):1553–5.
- 3) Al-Janabi H, van Exel J, Brouwer W, Coast J. A Framework for Including Family Health Spillovers in Economic Evaluation. *Med Decis Making*. 2016 Feb;36(2):176-86.
- 4) Pennington B, Davis S, Cranmer H. Caring for and Caring about in Economic Evaluation: Modelling the Family and Caregiving Effects. *Pharmacoeconomics*. 2026 Jan;44(1):13-23.
- 5) Ahmadu C, Evers E, Lister J, Liu FX, Darlington O. Carer Health-Related Quality of Life: A Review of Modelling Considerations in National Institute for Health and Care Excellence Technology Appraisals (2000-2023). *Pharmacoecon Open*. 2025 Nov;9(6):903-915.

II. QOL 値データベースのアップデート

1) 目的

平成 26 年（1999 年）度の厚生労働科研福田班において、国内で調査された QOL 値に関する論文のデータベースを構築した。これは国内の費用対効果評価制度、そして医療経済評価研究に欠かせないデータのひとつである QOL 値について、日本国内で調査された研究論文を集めたものである。

このデータベースを毎年アップデートし、関係する方面で広く役立ててもらおうということが本研究の目的である。

2) 方法

データベースは 1 年に 2 回の割合で、対象となる年の翌年当初にアップデートしている。対象は MEDLINE と医中誌であり、それぞれ国内で調査された QOL 値が掲載されている全論文をレビューした。

3) 結果

2025 年に新たに公表された論文は 99 本であり、1999 年からの累計は 633 本となった（図 3）。論文の内訳は英文が 78 本、和文は 21 本であった。また、疾患別では、例年同様、整形疾患領域の論文が最も多く、ついでがん領域の論文が続いた。精神疾患領域や泌尿器疾患、COVID-19 関連の論文も散見されるようになってきた（図 4）。

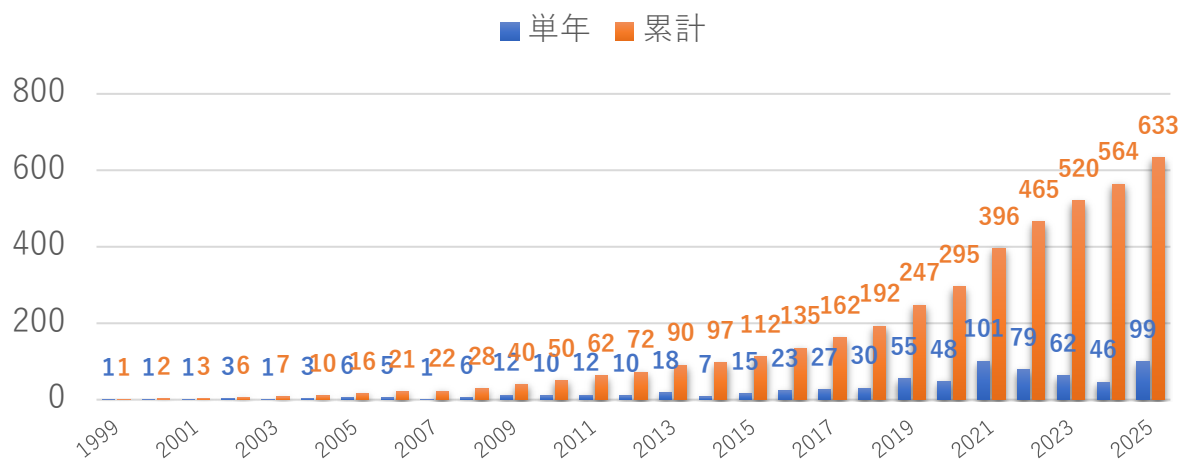


図 3. QOL データベースに掲載された論文の推移

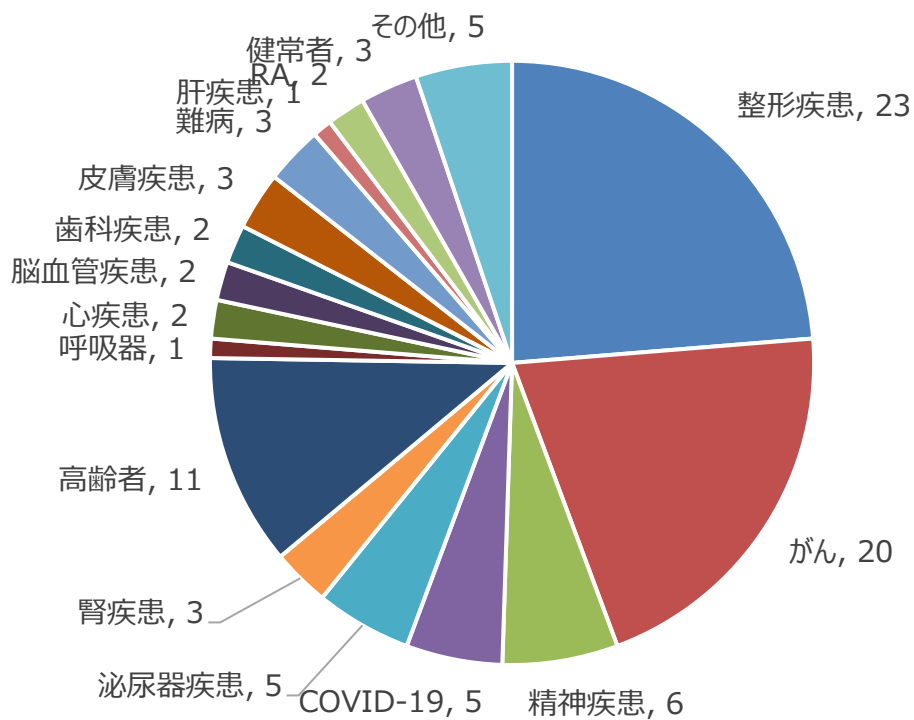


図 4. QOL 値が測定された疾患の内訳

4) 考察

国内で QOL 値を調査した論文の公表は昨年、一昨年と比べても減少した。疾患領域別では、整形外科疾患とがんの割合が多い点はこれまで同様であったが、その他の疾患の報告も増加傾向にあり、QOL 値の研究が疾患領域をまたいで広がってきていることが認識された。

5) Appendix

E420	2025	EQ-5D-3L	heart failure with preserved ejection fraction 左室駆出率が維持された心不全患者	547	Overall		0.8				longitudinal	Kitao T	Heart and Vessels	Post-discharge changes in nutritional status predict prognosis in patients with acute decompensated HFpEF from the PURSUIT-HFpEF Registry	40	577-591
				88	COUNT at discharge<2	COUNT 1Y<2	0.85									
				42		COUNT 1Y≥2	0.78									
				147	COUNT at discharge≥2	COUNT 1Y<2	0.83									
				270		COUNT 1Y≥2	0.78									
E421	2025	EQ-5D	Adult Spinal Deformity 成人脊柱変形患者	130	pre		0.63			Koshi magar i Exerci se	longitudinal	Terai H	Spine Surgery and Related Research	"Koshimagari Exercise" for Adult Spinal Deformity in Older Adults: Assessment of Home-Based Exercise Outcomes in a	9(3)	358-367

														Prospective Multicenter Study		
				113	3M		0.65									
				98	6M		0.64									
				88	12M		0.64									
E422	2025	EQ-5D-5L	chronic kidney disease 慢性腎臓病 患者	93	Total		0.832				A Cross- Sectional	Yagi T	Renal Replace ment Therapy	Association of cachexia with quality of life in patients with chronic kidney disease undergoing hemodialysis	11	s41100- 025- 00620-z
				23	Cachexia		0.721									
				70	No cachexia		0.85									
E423	2025	EQ-5D-5L	coronavirus disease-19 COVID- 19 患者	251	1st survey		0.804				longitudinal	Hatake yama J	Journal of Intensive Care	Two-year trajectory of functional recovery and quality of life in post-intensive care syndrome: a multicenter prospective observational study on mechanically ventilated	13	s40560- 025- 00777-z

														patients with coronavirus disease-19		
				209	2nd survey		0.839									
				192	3rd survey		0.833									
				178	4th survey		0.824									
E424	2024	TTO	missing teeth 欠損 歯のある一般市民	440	Loss of lower right first molar		0.697				longitudinal	Nakata ni K	J Osaka Dent Univ	Effect of prosthetic treatment for missing teeth on utility score	58(2)	391-397
				439	Loss of bilateral lower molars		0.6021									
				443	Loss of bilateral lower molars and premolars		0.5253									
				435	Lower edentulous		0.4305									
				436	Upper and lower edentulous		0.4									
E425	2024	EQ-5D-3L	hepatitis C C 型肝炎 患者	498	DAA treatment	No HCC after SVR Before treatment	0.898				longitudinal	Akita T	Hiroshim a J Med Sci	Health-related quality of life after sustained virological	1-2	1-7

														response to treatment for hepatitis C		
				498		No HCC after SVR After treatment	0.903									
				17		HCC after SVR Before treatment	0.942									
				17		HCC after SVR After treatment	0.88									
				286	IFN based treatment	No HCC after SVR Before treatment	0.904									
				286		No HCC after SVR After treatment	0.916									
				33		HCC after SVR Before treatment	0.926									
				33		HCC after SVR After treatment	0.921									
E426	2024	EQ-5D	Lumbar Ligamentous Flavum Hematoma 腰椎黄色韧带血腫患 者	15		Preoperative	0.6			Full- endosc opic Spine Surge ry	longitudinal	Chia- Wei C	Neurol Med Chir	Full-endoscopic Spine Surgery for the Treatment of Lumbar Ligamentous Flavum	64	401-408

														Hematoma		
						Postoperative	0.9									
E427	2024	EQ-5D	patients with chronic musculoskeletal pain 慢性筋骨格系疼痛患者	166	Total		0.541				A Cross-Sectional	Takahashi N	PAIN RESEARCH	Exploratory study of factors affecting quality of life among patients with chronic musculoskeletal pain: A cross-sectional study	39	19-25
				109	Women		0.551									
				57	Men		0.536									
E428	2024	EQ-5D	rheumatoid arthritis patients 関節リウマチ患者	178	SDAI	LDA	0.68			Medication treatment	longitudinal	Harigai M	Modern Rheumatology	Contribution of the factors to EuroQol 5 Dimensions in rheumatoid arthritis patients achieving low disease activity/remission with abatacept treatment: Post hoc subgroup	34	686-692

														analyses of the Japanese real-world observational 'ORIGAMI' study		
				99		MDA/HAD	0.62									
E429	2026	TTO	genaral population (large B-cell lymphoma) 一般市民 (大細胞型 B 細胞リンパ腫)		No treatment	burden	0.689			Medication treatment	longitudinal	Fuji S	J Med Econ	Health state utilities for relapsed or refractory large B-cell lymphoma treatments: a time trade-off study in the Japanese general population	29(1	455-466
					Epcoritamb	Cycle 1	0.459									
					Epcoritamb	Cycle 2-3	0.585									
					Epcoritamb	Cycle 4-9	0.642									
					Epcoritamb	Cycle 10+	0.678									
					Pola-BR	Cycle 1	0.216									
					Pola-BR	Cycle 2+	0.49									
					R-ICE	Cycle 1	0.151									
					R-ICE	Cycle 2+	0.38									

E430	2026	EQ-5D-5L	paroxysmal nocturnal hemoglobinuria 発 作性夜間ヘモグロビ ン尿症	45			0.73				A Cross- Sectional	Sakurai M	Int J Hematol	Disease burden and treatment patterns of paroxysmal nocturnal hemoglobinuria in Japan: a real-world survey		s12185- 026- 04170-w
E431	2026	EQ-5D-5L	Hematologic Malignancies 血液 がん	116	Total		0.89				A Cross- Sectional	Tsutsué S	Sci Rep	Unveiling economic and humanistic burden of hematologic malignancies in Japan with personal health record data	16	s41598- 026- 36287-7
				58	Active		0.882									
				58	Non-active		0.898									
E432	2026	EQ-5D-5L	older adults with tooth loss 歯の欠損 有する高齢者	14297	RPD/CD	nonusers	0.837				A Cross- Sectional	Hoshi- Harada M	J Prosthodont Res	Removable partial denture, complete denture, and fixed partial denture use and health- related quality of life among	70(1)	109-117

														older adults with tooth loss: A JAGES cross-sectional study		
						users	0.85									
				7476	FPD	nonusers	0.858									
						users	0.861									
E433	2026	EQ-5D-5L	Older Adults with Frailty 虚弱を伴う高齢者	6		before	0.63			Telerehabilitation	longitudinal	Yamada N	NeuroSci	Multiuser Exercise-Based Telerehabilitation Intervention for Older Adults with Frailty: A Pilot Study	7	neurosci 7010011
						after	0.77									
E434	2026	EQ-5D-5L	lumbar disc herniation 腰椎椎間板ヘルニア患者	12	Disc-FX	baseline	0.46			surgey	longitudinal	Takaoka H	JA Clin Rep	Evaluation of Disc-FX versus L'DISQ for percutaneous disc decompression: pilot comparative study using the minimal clinically important difference	12	s40981-026-00846-8

						postoperative 1 week	0.6									
						postoperative 1 month	0.61									
						postoperative 3 months	0.65									
						postoperative 6 months	0.69									
				26	L'DISQ	baseline	0.57									
						postoperative 1 week	0.59									
						postoperative 1 month	0.67									
						postoperative 3 months	0.67									
						postoperative 6 months	0.67									
E435	2026	EQ-5D-5L	patients with ischemic stroke 脑梗塞患者	1233	Total		0.68	Sel f and proxy	fam ily		A Cross-Sectional	Irie F	Qual Life Res	Utility-weighted modified rankin scale scores in patients with ischemic stroke: a multicenter observational study	35	s11136-025-04114-7
				192	mRS	0	0.9									

				449		1	0.85									
				206		2	0.74									
				239		3	0.62									
				250		4	0.41									
				116		5	0.28									
E436	2025	EQ-5D-5L	Myasthenia Gravis 重症筋無力症	28			0.805				A Cross- Sectional	Kasaha ra- Kiritani M	Front Neurol	Humanistic burden and medical care patterns of real- world patients with myasthenia gravis in Japan	16	fneur.20 25.1673 297
E437	2025	EQ-5D-5L	Neuropathic Pain Caused by Lumbar Disc Herniation 腰 椎椎間板ヘルニアに 伴う神経障害性疼痛	90	Mirogabalin add-on group	Baseline	0.6218			Medic ation treat ment	longitudinal	Suzuki H	Pain Ther	Efficacy and Safety of Mirogabalin as an Add-on to Nonsteroidal Anti- inflammatory Drugs for Neuropathic Pain Caused by Lumbar Disc Herniation: A Randomized Controlled Study (Miro- Hers)	14	s40122- 025- 00776-w

				85		Week 2	0.7472									
				75		Week 8	0.8136									
				89	NSAIDs alone group	Baseline	0.6538									
				72		Week 2	0.7084									
				72		Week 8	0.77									
E438	2025	EQ-5D	Patients with Rheumatoid Arthritis 関節リウマチ患者	63	Surgery	Baseline	0.67			surger y	longitudinal	Tsurui R	Mod Rheumat ol	Impact of Orthopaedic Surgery on Quality of Life in Patients with Rheumatoid Arthritis: A Retrospective Study Using the FRANK (Fukuoka Rheumatoid Arthritis NetworK) Registry	26	roaf078
						Follow up	0.71									
				122	Non-surgery	Baseline	0.77									
						Follow up	0.76									
E439	2025	EQ-5D-5L	knee osteoarthritis 変形性膝関節症	94	preoperative		0.61			surger y	longitudinal	Yamaga mi R	J Exp Orthop	Anatomically- designed bicruciate- retaining total	12	jeo2.705 67

														knee arthroplasty demonstrates good two-year survivorship and improvements in patient-reported outcomes: A prospective multicenter single-arm study		
				85	2 years		0.84									
E440	2025	EQ-5D	Knee osteoarthritis 変形性膝関節症	191	Overall	baseline	0.9				Longitudinal	Murakami Y	J Clin Med	Body Mass Index and Spinopelvic Alignment as Predictors of Incident Knee Osteoarthritis: An 8-Year Longitudinal Study from the TOEI Cohort of Older Japanese Women	14(20)	7343
				133	Non-Incident	baseline	0.9									

					KOA												
				58	Incident KOA	baseline	0.8										
E441	2025	EQ-5D-5L	community-dwelling women aged ≥65 years 65歳以上の健康女性高齢者	212	Make-Up Group		0.893				A Cross-Sectional	Matori S	Healthcare (Basel)	Associations Between Makeup Use and Physical, Cognitive, and Psychological Functions in Community-Dwelling Older Women	13(20)	2618	
				83	Non-Makeup Group		0.866										
				45	the type of makeup products	Lipstick	0.877										
				40		Eye-brow Products	0.891										
				102		Both	0.907										
				108		Neither	0.866										
E442	2025	HUI3	community-dwelling older adults 高齢者	35	Intervention	pre	0.5			Photo-Integrated Conversation Moderated	Longitudinal	Watana be Miura K	BMC Geriatr	A 12-week application-based group conversation intervention on cognitive health and psychosocial	25(1)	774	

										by Applic ation (PICM OA)				well-being among older adults during the COVID-19 pandemic: a randomized controlled trial		
						post	0.53									
				40	control	pre	0.59									
						post	0.64									
E443	2025	TTO	Chronic kidney disease / Hemodialysis 慢性 腎臓病 血液透析	107	total	2 tablets/day	0.373				A Cross- Sectional	Shimoda H	Sci Rep	Estimating the impact of pill burden on health utilities in hemodialysis therapy	15(1)	35315
						3 tablets/day	0.347									
						6 tablets/day	0.327									
						9 tablets/day	0.314									
						12 tablets/day	0.29									
						24 tablets/day	0.257									
						36 tablets/day	0.239									
E444	2025	EQ-5D	Spinal metastases 脊椎転移	46	Non-frailty	baseline	0.572			surger y	Longitudinal	Tsujimoto T	Bone Jt Open	Relationships between frailty and surgical outcomes of palliative surgery for	6(10)	1199- 1207

														spinal metastases : a prospective cohort study		
						1month	0.833									
						3months	0.883									
						6months	0.91									
				137	Pre-frailty	baseline	0.027									
						1month	0.569									
						3months	0.64									
						6months	0.695									
				90	Frailty	baseline	-0.211									
						1month	0.387									
						3months	0.597									
						6months	0.574									
E445	2025	EQ-5D-5L	Cancer がん	713	Overall		0.8204			questi onnair e survey	A Cross- Sectional	Hashigu chi S	Jpn J Clin Oncol	A questionnaire- based cross- sectional study on neuropathic pain in patients with cancer in Japan	55(1 0)	1141- 1151
				53	S-LANSS	S-LANSS ≥12	0.6065									
				66		S-LANSS≥9	0.606									
E446	2025	EQ-5D-5L	Lumbar degenerative disease 腰椎変性疾	124	undergoing lumbar spine surgery	total	0.58			surger y	A Cross- Sectional	Higashi no I	Spine J	Health literacy and patient- reported	25(1 0)	2291- 2298

			患											outcomes in preoperative patients undergoing lumbar spine surgery: a cross-sectional study		
E447	2025	EQ-5D-5L	Intellectual disability 知的障害	48	total		0.54 (median)				A Cross-Sectional	Izumi M	Int J Environ Res Public Health	The Impact of Swallowing Difficulties on Quality of Life in Adults with Intellectual Disabilities in Residential Care: Cross-Sectional Study	22(10)	1470
				31	EAT-10	EAT-10≤2	0.7 (median)									
				17		EAT-10≥3	0.4 (median)									
E448	2025	EQ-5D-5L	Degenerative cervical myelopathy 頚椎症性脊髄症	188	surgery	Before surgery	0.55			surger y	Longitudinal	Taniguchi Y	Nutrients	Impact of Preoperative Malnutrition on Postoperative Quality of Life in Older Adults Undergoing	17(18)	2912

														Surgery for Degenerative Cervical Myelopathy: A Retrospective Cohort Study		
						One year after surgery	0.66									
E449	2025	EQ-5D-5L	Pancreatic cancer 膵癌	46	NAL-IRI+ 5FU/LV	C2A1D1	0.803			medication	Longitudinal	Takumoto Y	Cancer Med	Electronic Patient-Reported Outcome Quality of Life Score in Japanese Patients With Pancreatic Cancer on Second-Line Chemotherapy: A Multicenter Observational Study	14(17)	e71161
						C2A1D6	0.678									
						C3A1D1	0.776									
				16	GnP	C2A3D6	0.789									
E450	2025	EQ-5D-5L	Cancer がん	743	AYA		0.76				A Cross-Sectional	Kurisu K	BMC Cancer	Impact of loneliness on depression	25(1)	1319

														among cancer survivors: a comparison between adolescents and young adults and other age groups		
				2822	Non-AYA		0.88									
E451	2025	EQ-5D	Bone metastasis 骨転移	61	rehabilitation group	baseline	0.395			rehabilitation	Longitudinal	Yoshikawa R	J Bone Oncol	Effectiveness of rehabilitation treatment for bone metastasis patients without surgical intervention: A propensity score matching analysis	53	100703
				31		after propensity score matching	0.458									
				139	non-rehabilitation group	baseline	0.644									
				31		after propensity score matching	0.548									

E452	2025	EQ-5D	Degenerative cervical myelopathy 頹椎症性脊髄症		total	preoperative	0.55			surger y	Longitudinal	Jim Y	Eur Spine J	Prevalence of idiopathic normal pressure hydrocephalus in patients with degenerative cervical myelopathy	34(8)	3243- 3252
						postoperative	0.65									
					Suspected- iNPH	preoperative	0.52									
						postoperative	0.64									
					Non-iNPH	preoperative	0.57									
						postoperative	0.66									
E453	2025	EQ-5D-5L	Lumbar spinal stenosis 腰部脊柱管 狭窄症	41	With mirogabalin- related ADRs	Baseline	0.6134			medic ation	Longitudinal	Nikaido T	Pain Ther	Safety and Efficacy of Mirogabalin in Lumbar Spinal Stenosis Patients with Peripheral Neuropathic Pain on NSAIDs: Post Hoc Analysis of the MiroTAS Study	14(4)	1293- 1310
						Week 12	0.7318									

				44	Without mirogabalin- related ADRs	Baseline	0.6889										
						Week 12	0.7306										
E454	2025	EQ-5D-5L	metastatic spinal 転移性脊髄腫瘍	189	Posterior spine stabilization with decompressio n	preoperative	0.31			surger y	Longitudinal	Tomina ga H	Sci Rep	The significance of adding posterior decompression to spine stabilization in metastatic spinal surgery: a multicenter prospective study	15(1	27684	
						1M	0.54										
						6M	0.66										
				74	Posterior spine stabilization without decompressio n	preoperative	0.4										
						1M	0.62										
						6M	0.72										
E455	2025	EQ-5D-5L	Long COVID 新型 コロナウイルス感染 後の罹患後症状		all patients	First visit	0.711			medic ation	Longitudinal	Ono R	Front Med (Lausan	Effectiveness of Japanese traditional	12	1609812	

													ne)	medicine (Kamikihito and Saikokeishito) for treating long COVID: a prospective observational study		
						3 months later	0.833									
					brain fog patients	First visit	0.677									
						3 months later	0.75									
E456	2025	EQ-5D-5L	Respiratory infection 呼吸器感 染症候群	134	Adult part participants	First survey	0.798				Longitudinal	Kitano T	J Patient Rep Outcome s	Impact of influenza-like illnesses on health state utility value among Japanese children and adults	9(1)	83
						Follow-up survey	0.853									
				130	Pediatric part participants	First survey	0.818									
						Follow-up survey	0.897									

E457	2025	EQ-5D-5L	Hip osteoarthritis 変形性股関節症	11	CPP	Pre-treatment	0.6				Longitudinal	Nishie H	Neurobio l Pain	Circulating microRNAs differentiate nociceptive and nociplastic pain: An exploratory study	18	100191
				8		Post- treatment	0.8									
				13	HO	Pre-treatment	0.6									
				11		Post- treatment	0.9									
E458	2025	EQ-5D-5L	family caregivers 家族介護者	167	total		0.821				A Cross- Sectional	Sakurai M	J Clin Nurs	Positive and Negative Appraisals and Quality of Life Among Family Caregivers of Adults With Formal Long- Term Care Needs: An Exploration of Model Using Structural Equation Modelling	0	1-14
E459	2025	EQ-5D-5L	Community- dwelling older adults 高齢者一	159	total		0.88				A Cross- Sectional	Asano T	Cureus	The Association Between Health-Related	17(6)	e86054

			般集団											Quality of Life and Bioelectrical Impedance-Derived Phase Angle in Community-Dwelling Older Adults: A Cross-Sectional Study		
E460	2025	EQ-5D-5L	COVID-19 新型コロナウイルス感染症	302	COVID-19 patients	acute phase	0.615				Longitudinal	Maeda H	Arch Public Health	Comparison of long-term health-related quality of life and symptoms between COVID-19 patients and test-negative controls during the Omicron-predominant period in Japan	83(1)	136
						month 1-3	0.907									
						month 3-6	0.961									
						month 6-12	0.97									
				77	test-negative controls	acute phase	0.874									

						month 1-3	0.976									
						month 3-6	0.994									
						month 6-12	0.995									
				118	male COVID-19 patients	acute phase	0.672									
						month 1-3	0.945									
						month 3-6	0.985									
						month 6-12	0.99									
				184	female COVID-19 patients	acute phase	0.581									
						month 1-3	0.882									
						month 3-6	0.946									
						month 6-12	0.957									
E461	2025	EQ-5D-5L	brain tumors and their families 脳腫瘍患者とその家族	136	patients		0.863				A Cross-Sectional	Sato I	Neurooncol Adv	Health-related quality of life and psychological distress in patients with brain tumors and their families: A cross-sectional web survey	7(1)	vdaf098
				103	family members		0.879									

E462	2025	EQ-5D-5L	Malignant tumor 悪性腫瘍	120	total	baseline	0.309				Longitudinal	Miura T	BMC Palliat Care	Comparing EQ-5D-5L and IPOS among residents with malignant tumors in a community home hospice: a longitudinal study	24(1)	134
E463	2025	EQ-5D-5L	Schizophrenia 統合失調症	68	total	baseline	0.73			rehabilitation	Longitudinal	Shimada T	Cureus	Effect of Individualized Occupational Therapy on Rehospitalization Among Patients With Schizophrenia: A Two-Year Follow-Up of a Randomized Controlled Trial	17(4)	e82429
				67		Posttreatment	0.84									
				62		One-year follow-up	0.84									
				62		Two-year follow-up	0.86									
				34	GOT+IOT	baseline	0.72									
				34		Posttreatment	0.87									

				32		One-year follow-up	0.88									
				32		Two-year follow-up	0.91									
				34	GOT	baseline	0.74									
				33		Posttreatment	0.8									
				30		One-year follow-up	0.81									
				30		Two-year follow-up	0.81									
E464	2025	EQ-5D-5L	General population (older adults) 一般高齢者	914	total		0.895 (median)				A Cross-Sectional	Muramatsu Y	BMC Geriatr	Association between physical activity and quality of life in Japanese adults aged 85 to 89 years: a cross-sectional study	25(1)	216
				452	male		0.895 (median)									
				462	remale		0.895 (median)									

E465	2025	EQ-5D-5L	Major depressive disorder 大うつ病	216	total	Baseline	0.776			medication	Longitudinal	Hori H	Front Psychiatry	Assessment of minimum clinically important difference in symptoms and functionality of Japanese patients with major depressive disorder following inadequate response to antidepressants: a post hoc analysis of the long-term study of brexpiprazole augmentation therapy in Japanese patients with major depressive disorder	16	1556470
						52 weeks after treatment	0.785									

E466	2025	ICECAP-A,ICECA P- O,EQ5D- 5L	General population 一般住民	400	ICECAP-A		0.828				A Cross- Sectional	Sado M	Psychol Res Behav Manag	Scoring System for the Japanese Version of the ICECAP-A	18	703-717
					ICECAP-O		0.748									
					EQ-5D-5L		0.891									
E467	2025	EQ-5D-3L	Multiple myeloma 多発性骨髄腫	309	total		0.7 (median)					Yasuto mi Y	Future Oncol	Treatment landscape and disease burden of patients with multiple myeloma in Japan: a real- world survey	21(6)	681-690
E468	2025	EQ-5D-3L	Lumbar disc herniation 腰椎椎 間板ヘルニア	171	postoperative satisfaction Mild group (NRS 0-3)	pre	0.54			surger y	Longitudinal	Nakaji ma K	Spine J	Correlation between severity of preoperative low back pain and postoperative outcomes in lumbar disc herniation surgery: a retrospective cohort study	25(3)	474-484
						post	0.85									

				207	Moderate group (NRS 4-7)	pre	0.5									
						post	0.81									
				200	Severe group (NRS 8-10)	pre	0.4									
						post	0.8									
E469	2024	EQ-5D-5L	COVID-19 新型コロナウイルス	28118	total		1.0 (median)				A Cross-Sectional	Miwa T	J Public Health (Oxf)	Association between public health measures and the public's well-being during the pandemic: a nationwide Japanese study	47(1	e1-e10
					Cumulative duration(days) of public health measures within a year	0-90days	1.0 (median)									
						91-180days	1.0 (median)									
						181-365days	1.0 (median)									
E470	2025	EQ-5D-5L	Older adults requiring long-term care 要介護高齢者	67	total		0.779				A Cross-Sectional	Kouda K	Prog Rehabil Med	The Relationship between	10	20250005

														Physical Function and Quality of Life in Elderly People Requiring Long-term Care		
				32	male		0.833									
				35	remale		0.73									
E471	2025	EQ-5D-5L,SF-6D	Chronic spontaneous urticaria 慢性特発性蕁麻疹	334	total	EQ-5D-5L	0.79				A Cross-Sectional	Hide M	J Clin Med	Prevalence and Burden of Chronic Spontaneous Urticaria in Japan: A Cross-Sectional Study	14(4	1162
						SF-6D	0.71									
E472	2025	EQ-5D-5L	Atopic dermatitis アトピー性皮膚炎	882	POEM:Patients with AD diagnosis records confirmed by claims data	clear/almost clear	0.895(median)				A Cross-Sectional	Murota H	Dermatol Ther (Heidelb)	Quality of Life in Adults with Atopic Dermatitis in Relation to Disease Severity: Nationwide Data in Japan	15(2	291-305
						mild	0.895(median)									
						moderate	0.895(me									

							dian)										
						severe/very severe	0.867(medi- dian)										
				1507	POEM:Indivi- duals with self-reported AD symptoms or treatment in the questionnaire	clear/almost clear	1.0(medi- an)										
						mild	0.895(medi- dian)										
						moderate	0.875(medi- dian)										
						severe/very severe	0.867(medi- dian)										
E473	2025	EQ-5D-5L	Metastatic spinal tumor 転移性脊椎 腫瘍	42	SINS 0-6	preoperative	0.4			surger- y	Longitudinal	Nakaji ma H	J Neurosurg Spine	Surgical strategy for metastatic spinal tumors based on Spine Instability Neoplastic Score and patient- reported outcomes: JASA multicenter	42(2)	203-214	

														prospective study		
						1month	0.65									
						6months	0.72									
				205	SINS 7-12	preoperative	0.25									
						1month	0.62									
						6months	0.66									
				70	SINS 13-18	preoperative	0.25									
						1month	0.58									
						6months	0.73									
					SINS 7-9	preoperative	0.25									
						1month	0.61									
						6months	0.66									
					SINS 10-12	preoperative	0.24									
						1month	0.62									
						6months	0.67									
E474	2025	EQ-5D-5L	Systemic lupus erythematosus 全身性エリテマトーデス	164	LLDAS		0.83				A Cross-Sectional	Tanaka Y	Lupus Sci Med	Impact of quality of life on overall work productivity impairment and activity impairment of patients with systemic lupus erythematosus: the PEONY	12(1)	e001291

														study		
				41	Non-LLDAS		0.76									
E475	2025	EQ-5D	Atrial fibrillation 心房細動	16	Paroxysmal atrial fibrillation cohort	baseline	0.83			Proced ure Pulsed field ablati on	A Cross- Sectional	Yamane T	J Interv Card Electrop hysiol	Safety, efficacy, and quality of life outcomes of pulsed field ablation in Japanese patients with atrial fibrillation: results from the PULSED AF trial	68(1)	149-157
						12months	0.95									
				16	Persistent atrial fibrillation cohort	baseline	0.92									
						12months	0.96									
E476	2025	EQ-5D-5L	Long COVID COVID 後遺症	19784	total		1.0(medi an)				A Cross- Sectional	Honda H	Am J Med	Prolonged Symptoms after COVID-19 in Japan: A Nationwide Survey of the Symptoms and	138(1)	98-107

														Their Impact on Patients' Quality of Life		
				2397	COVID-19Infection	Respondents with COVID-19	1.0(median)									
				17387		Respondents Without COVID-19	1.0(median)									
				2562	NumberofCOVID-19Vaccines	0	1.0(median)									
				120		1	1.0(median)									
				2507		2	1.0(median)									
				14595		3 or 4	1.0(median)									
E477	2026	ASCOT SCT4 , EQ-5D-5L	Mental illness 精神疾患	395	total	ASCOT	0.64				A Cross-Sectional	Nara M	Health Qual Life Outcomes	Validity and reliability of the Japanese Adult Social Care Outcomes Toolkit four-level Self Completion Tool (ASCOT SCT4) in community mental health		doi: 10.1186/s12955-026-02499-8

														service users in Japan		
				395		EQ-5D-5L	0.77									
E478	2022	ICECAP-A	General population 一般住民	500	total		0.62				A Cross- Sectional	Koreki A	Psychology Research and Behavior Management	Formulation of a Mapping Formula to Estimate Well- Being Utility from Clinical Subjective Well-Being Scales	15	3233 - 3241
E479	2026	EQ-5D-5L	chronic foot wounds 慢性足部創傷	27	早期リハ群	pre	0.64			Early Rehab ilitation n	Longitudinal	Maeshig e N	Int J Low Extrem Wounds	Effect of Early Rehabilitation on Walking Independence and Health- Related Quality of Life in Patients With Chronic Foot Wounds: A Multicenter Randomized Clinical Trial	25(1)	96-102.
						post	0.78									
				26	対照群	pre	0.63									

						post	0.81									
E480	2026	EQ-5D-Y-3L	respiratory infections 小児の呼吸器感染症	275		発症前	0.98				Longitudinal	Kitano T	Value Health	Impact of respiratory infections on health-related quality of life among children: using PedsQL, EQ-5D-Y, and EQ-TIPS	S10 98-301 5	00055-0
						発症後 1～4 日	0.75									
E481	2026	EQ-5D-5L	Degenerative Cervical Myelopathy 変性頸髄症	62	eROM $\leq 9^\circ$ group		0.61				A Cross-Sectional	Wakasa J	Spine	Preoperative Cervical Extension and Flexion Range of Motion Predict Postoperative Kyphotic Change without Affecting 2-Year Clinical Outcomes Postoperatively after Laminoplasty for Degenerative		

														Cervical Myelopathy		
				85	eROM >9 ° group		0.607									
E482	2026	EQ-5D-5L	Anterior Cervical Discectomy and Fusion 頸椎症性神 経根症	225	Iliac crest bone graft group	Baseline	0.31				Longitudinal	Kawasa ki S	Spine	National Multicenter Analysis of Iliac Crest Bone Graft or Cage in Anterior Cervical Discectomy and Fusion Surgery		
						2 years	0.73									
				1,228	Cage group	Baseline	0.36									
						2 years	0.76									
E483	2026	EQ-5D-5L	Lumbardegenerativ e 腰椎変性疾患	14,846	no dialysisdepen dence	pre	0.55				Longitudinal	Ishikaw a Y	Spine J	Lumbar degenerative surgery in dialysis- dependent patients' complications and patient- reported outcomes	S15 29- 943 0	00012-4
						post	0.76									

				243	dialysis dependence	pre	0.48									
						post	0.65									
E484	2026	EQ-5D-3L	Chronic Pain 慢性 疼痛	95		pre	0.61			Chron ic Pain Mana gemen t Progra m “ PAI N CAMP ”	Longitudinal	Nakaso Y	Pain Pract	Long-Term Effects of a Chronic Pain Management Program (PAIN CAMP) on Refractory Chronic Pain Classified by ICD-11: A Single-Arm Intervention Study	26(1	e70102
						post	0.7									
E485	2025	EQ-5D-5L	community- dwelling older adults 地域在住高 齢者	1,066	meaningful occupations	with	0.895				A Cross- Sectional	Obuchi K	Br J Occup Ther	Performance and satisfaction with meaningful occupations as predictors of health-related quality of life among community- dwelling older adults: A cross-	88(1 2)	763-772

														sectional study in rural Japan		
						no	0.831									
E486	2025	EQ-5D-5L	Spinal metastases 脊椎転移	360	surgery	pre	0.43				Longitudinal	Kitagawa K	Spine	Machine Learning-Based Prediction of Quality of Life Improvement After Surgery for Spinal Metastases: A Prospective Multicenter Study	50(20)	1410-1419.
						post	0.61									
E487	2025	EQ-5D-5L	systemic lupus erythematosus 全身性エリテマトーデス	133			0.82				A Cross-Sectional	Yamashita S	Lupus	Validity and reliability of the Japanese version of LupusQoL: Assessment of disease-specific health-related quality of life in systemic lupus erythematosus	34(8)	810-818.

E488	2025	EQ-5D-5L	adult spinal deformity 成人脊柱变形	56		MCID-achieved achieved	0.65			home-based exercise	Longitudinal	Taniwa ki H	Eur Spine J	Who benefits from home-based exercise for adult spinal deformity? A prospective multicenter study on clinical and radiographic predictors	34(7)	2806-2818.
				22		Non-achieved	0.6									
E489	2025	HUI3	hearing loss 難聴	26		Cochlear implant	0.6				A Cross-Sectional	Imagawa N	Otol Neurotol	Evaluating the Cost-Effectiveness of Unilateral Cochlear Implants Versus Hearing Aids in Older Adults in Japan	46(6)	634-640.
				8		Hearing aid	0.54									
E490	2025	EQ-5D-5L	Community-Dwelling Older Adults 地域在住高齢者	1,126	social participation	no	0.831				A Cross-Sectional	Mutai H	J Appl Gerontol	Factors Associated With Health-Related Quality of Life Among Community-Dwelling Older	44(6)	893-901.

														Adults Without Social Participation in Japan: A Cross-Sectional Study		
				198		yes	0.895									
E491	2025	EQ-5D-5L	Complex Anterior Urethral Strictures 複雑前部尿道狭窄	39	surgery	pre	0.8			Kulkarni 尿道形成術	Longitudinal	Takekawa K	Int J Urol	One-Sided Dorsal Onlay Urethroplasty With Penile Invagination (Kulkarni Urethroplasty) for Complex Anterior Urethral Strictures: A Single-Center Experience	32(6)	749-755.
						post	0.9									
E492	2025	EQ-5D-5L	acute renal colic 急性腎疝痛	93		baseline	0.8				Longitudinal	Ito K	Urologia	Determinants of health-related quality of life in patients undergoing medical expulsion therapy for	92(2)	209-215.

														acute renal colic		
E493	2025	EQ-5D-5L	unresectable advanced pancreatic cancer 切除不能進行胰癌	60		baseline	0.824			gemcitabine + nab-paclitaxel (GnP)	Longitudinal	Hino K	Int J Clin Oncol	A multicenter prospective observational study for health assessment questionnaires EQ-5D-5L and G8 in unresectable advanced pancreatic cancer treated with first-line gemcitabine plus nab-paclitaxel therapy	30(4)	738-748.
E494	2025	EQ-5D-5L	brain tumors 腦腫 瘍	112		baseline	0.698				Longitudinal	Watanabe T	Eur J Phys Rehabil Med	Improved health-related quality of life after rehabilitation in patients with brain tumors is not affected by tumor type	61(2)	239-249.

						discharge	0.772										
E495	2025	EQ-5D-5L	anterior urethral strictures 前部尿道狭窄	100	surgery	pre	0.75			staged urethraloplasty 段階的尿道的尿道形成術		Minami T	Int J Urol	Surgical and patient-reported outcomes of staged urethroplasty for anterior urethral strictures: A comprehensive analysis	32(4)	441-446.	
						post	0.92										
E496	2025	EQ-5D-5L	malignant lymphoma 悪性リンパ腫	60	chemotherapy	pre	0.85			first cancer chemotherapy	Longitudinal	Teshigawara Y	Support Care Cancer	Impact of anxiety and chemotherapy side effects on quality of life in patients with malignant lymphoma	33(3)	238.	
						post	0.87										
E497	2025	EQ-5D-5L	osteoporosis	532	protein intake	baseline	0.8			protein intake	Longitudinal	Matsumoto Y	Geriatr Gerontol Int	Diet-related quality of life may directly and indirectly affect health-related quality of life through	25(2)	243-250.	

														protein intake and frailty in patients with osteoporosis: Results from a prospective cohort study		
E498	2025	EQ-5D-5L	acute psychiatric inpatients 急性期精神科入院患者	299		non-readmitted group	0.82				Longitudinal	Yamaguchi S	Social Psychiatry Epidemiol	Associations between readmission and patient-reported measures in acute psychiatric inpatients: a multicenter prospective longitudinal study	60(1)	79-93.
				181		readmitted group	0.8									
E499	2024	EQ-5D-5L	surgical site infection after spinal surgery (SSI) 脊椎手術後手術部位感染	8787	SSI-	pre	0.53					Nakamoto H	J Orthop Sci	Does surgical site infection affect patient-reported outcomes after spinal surgery? A multicenter	6	1370-1375

														cohort study		
						post	0.73									
				74	SSI+	pre	0.53									
						post	0.69									
E500	2025	EQ-5D-5L	osteoporotic vertebral fracture 骨粗鬆症性椎体骨折	29	Ultra early	pre	0.31			ultra- early balloon kypho- plasty バルーン椎体 形成術		Teraguchi M	J Orthop Sci	Effectiveness of ultra-early balloon kyphoplasty at one year after osteoporotic vertebral fracture	5	780-784
				39	Early	pre	0.45									
						post	0.66									
				22	Conventional	pre	0.46									
						post	0.65									
E501	2025	EQ-5D-5L	anterior urethral strictures 前部尿道 狭窄	100		術前	0.75				Longitudinal	Minami Takahiro	International Journal of Urology	Surgical and patient- reported outcomes of staged urethroplasty for anterior urethral strictures: A comprehensive	32 (4)	441-446

														analysis		
						術後（53 か月）	0.92									
E502	2025	EQ-5D-5L	要介護高齢者	32	性別	男性	0.83				A Cross- Sectional	Kouda Ken	Progress in Rehabilit ation Medicine	The Relationship between Physical Function and Quality of Life in Elderly People Requiring Long-term Care	10	prm.202 50005
				35		女性	0.73									
E503	2025	EQ-5D-5L	切除不能進行膵癌 unresectable advanced pancreatic cancer	112		ゲムシタビン+ナ ブパクリタキセ ル gemcitabine + nab-paclitaxel (GnP)	0.824			ゲムシ タビン + ナブ パクリ タキセ ル gemcit abine + nab- paclita xel (GnP)	Longitudinal	Hino Kaori	Internati onal Journal of Clinical Oncology	A multicenter prospective observational study for health assessment questionnaires EQ-5D-5L and G8 in unresectable advanced pancreatic cancer treated with first-line gemcitabine	30	738-748

														plus nab- paclitaxel therapy		
E504	2025	EQ-5D-5L	緊張型頭痛 tension-type headaches	37	鍼治療	治療前	0.83			鍼治療	Longitudinal	Kondo Hiroshi	Japanese Acupuncture and Moxibustion	Cost-effectiveness of acupuncture for tension-type headaches in Japan: a multicenter, prospective, single-arm clinical trial	19	1-9
						治療後	0.9									
E505	2024	EQ-5D-5L	hip osteoarthritis 変形性股関節症	421	THA（人工股 関節置換術）前	Noc（侵害受容性 疼痛）	0.66				A Cross- Sectional	Nishiwa ki Toru	Journal of Joint Surgery and Research	Pain characteristics in patients with hip osteoarthritis	4	168-172
						CS（中枢性感作）	0.48									
						Neu（神経障害性 疼痛）	0.48									
						NeuCS: 神経障 害性と中枢性感 作が混在	0.3									

J117	2025	EQ-5D-5L	上下無歯顎患者	38		術前	0.781 (median)			デジタル総 義歯	縦断 的	足田 涼	日本顎咬合学会誌: 咬み 合わせの科学	既製フルアーチ人工歯を 用いたデジタル総義歯に	45(2)	152-158
------	------	----------	---------	----	--	----	----------------	--	--	-------------	---------	---------	------------------------	----------------------------	-------	---------

														おける全身的・口腔関連 QOLへの影響(原著論文)		
						術 直 後	0.781									
						1 ヶ月 後	0.781									
						3 ヶ月 後	0.781									
						6 か月 後	0.875									
J118	2025	EQ-5D-5L	造血器腫瘍患者	33		介 入 前	0.6			作業療法	縦断 的	宮内 貴之	神奈川作業療法研究	化学療法を実施した造血 器腫瘍患者に対する作業 療法は倦怠感の減少に関 与するか	15(1)	22-29
						介 入 後	0.7									
J119	2025	EQ-5D-5L	要支援認定者	18		開 始 時	0.6			リエイブル メントに基 づく介入	縦断 的	赤堀 将孝	作業療法	C 型サービスモデル事業 におけるリエイブルメン トに基づく介入効果の検 証	44(4)	407-415
						終 了 時	0.7									
J120	2025	EQ-5D-5L	慢性疼痛患者	83	運 動 習 慣あり		0.85				横断 的	佐久 間 俊輔	Pain Rehabilitation	慢性疼痛患者の運動習慣 の違いによる身体活動に 関連する因子の調査	15(1)	16-25
				76	運 動 習 慣なし		0.71									
J121	2025	EQ-5D-5L	肺癌周術期患者	108	Total	開 始	0.91				縦断	石井	日本呼吸ケア・リハビリ	肺 癌 周 術 期 健 康 関 連	34(2)	151-156

						時					的	伸尚	テーション学会誌	QOL への術前身体機能 の 影 響 PC-PA quadrants の応用		
						退 院 時	0.85									
						1 カ 月後	0.85									
				38	低 PC, 低 PA	開 始 時	0.86									
						退 院 時	0.85									
						1 カ 月後	0.82									
				9	高 PC, 低 PA	開 始 時	0.91									
						退 院 時	0.93									
						1 カ 月後	0.85									
				31	低 PC, 高 PA	開 始 時	0.96									
						退 院 時	0.8									
						1 カ 月後	0.85									
				23	高 PC, 高 PA	開 始 時	0.95									
						退 院	0.89									

						時											
						1 カ月後	0.88										
J122	2024	EQ-5D-3L	精神科デイケア利用者	6		ベースライン	0.56			就労支援プログラム（認知矯正療法，グループワーク，SST）	縦断的	野口卓也	デイケア実践研究	精神科デイケアにおける就労支援の効果に対する予備的検討 認知矯正療法・社会生活スキルトレーニングを併用した介入プログラムの単群前後比較試験	28(2)	3-12	
						介入前	0.86										
						介入後	0.88										
J123	2024	EQ-5D-5L	慢性疼痛患者	76			0.74				横断的	佐久間俊輔	慢性疼痛	慢性疼痛患者のプレゼンティーズムは,運動恐怖感や不安,日常の痛みが影響する	43(1)	46-51	
J124	2024	EQ-5D-5L	脳卒中片麻痺患者	38		入院時	0.57			リハビリテーション	縦断的	伊藤佳奈	作業療法の実践と科学	脳卒中片麻痺患者における作業遂行能動性評価 (Occupational Performance with Autonomy scale:OPA)の開発 回復期リハビリテーション入院患者での検討	6(4)	117-127	
						退院時	0.762										

J125	2020	ASCOT	要介護高齢者	249	性別	男性	0.54				横断 的	森山 葉子	保健医療科学	日本語版 ASCOT による 要介護高齢者の社会的ケ ア関連 QOL の測定と関 連要因	69(5)	460-470
				451		女性	0.6									
				49	年代	65-69 歳	0.54									
				173		70-79 歳	0.55									
				338		80-89 歳	0.58									
				145		90 歳 以上	0.63									
				188	要 介 護 度	要 支 援	0.62									
				315		要介護 1・2	0.57									
				188		要介護 3-5	0.56									
J126	2025	EQ-5D-5L	腰椎椎間板ヘルニア	15	DiscFX 群	術前	0.44				後方 視的	小林 玲音	慢性疼痛	腰椎椎間板ヘルニアに対 する椎間板内治療の比較 後ろ向きコホート研究	44	48-53
						術後 6 か月	0.69									
				16	コンド リアー ゼ群	術前	0.43									
						術後 6	0.68									

						か月										
J127	2025	EQ-5D-5L	薬害 HIV 感染血友病	217			0.65				横断 的	久地 井 寿哉	日本エイズ学会誌	薬害 HIV 感染血友病患者を対象とした健康関連 QOL の実態	27	6-11
J128	2025	SF-6D	血液がん患者	14		運 動 療 法 + 栄 養 療 法	0.66				縦断 的	森下 慎一 郎	医療の広場	血液がん患者に対し運動療法と栄養療法を加えた包括的リハビリテーションが健康効用値に及ぼす影響	65	14-16
				14		運 動 療法	0.68									